

「エコ」を身につけては！

近頃雪も溶け始め、だいぶ日も長くなりようやく、春のきざしを感じる日々になりましたね。4月から新居、新生活を始まる方も多いかと思われそうですが、この機会に、身近なところから「エコ」を身につけては如何でしょうか！

出勤の際はマイボトル・マイ箸でお昼を楽しみ、お買い物にはマイバッグを活用！なんて身近で実践出来る「エコ」ですよね。また、普段くるまを利用している方は、休日は近くのコンビニまではウォーキング！スーパーまでの買い物では自転車！なんて如何でしょうか。ウォーキングや自転車で移動することで運動不足の解消、ダイエットにもなりますね！

また、押し入れに引越しなどで未だに開けていないダンボールありませんか？

また、タンスの中に3年以上着ていない服はありますか？

3年以上着ていない服はもう着ない服、不必要な服とも言われています。春の衣替えの際におもいきってリサイクルショップやフリーマーケットに出すのも良いですね。これも簡単な「エコ」のスタートです。ゴミにするのは簡単だけど、ひと手間・ひと工夫を加える事で自分にとってもプラスになる事もあります。

これ以外にも、体を洗うときにはこまめにシャワーを止めたり、お風呂の残り湯を洗濯に使う方もいますよね。でも、シャワーのお湯が温まるまで、水を出しっ放しにしてしまうなんて事はよくある事だと思います。そこで、温まるまでの水をバケツに入れ、掃除や洗濯に使用すると水道代の節約にもつながります。その他にも、お風呂のお湯を溜める時は、温まるまでのお湯をバケツに入れ、温度が上がってからバスタブに入れる事で温度差が減り、お財布（燃料代）にも、地球にも優しくする事ができます。

ロビーコンサート ふきのとう コンサート

3月24日（日）ふきのとうコンサートと題して、Y's バンドの皆さまによるロビーコンサートが開催されました。「春よこい」「丘を越えて」等おなじみの曲を披露してもらいました。また、歌詞カードを会場の皆さまに配布し、一緒に歌を歌いながら楽しい時間を過ごすことが出来ました。

アンコールでは会場からのリクエストで、「故郷」をジャズバージョンで演奏してもらい違ったアレンジの曲調で楽しめました。



編集後記 2013

今年の冬は本当に厳しかったですね、夕方の日の入り時刻も長くなり、すっかり春らしい陽気の日が増えてきましたね。

今年度から環境がガラッと変わった方などはGWの連休明けから疲れがたまってくる頃かと思いますが、自分なりのストレス解消法を見つけて、暖かくなっても体調管理にはお気をつけ下さい。

すべての
お問い合わせは

郵便 〒064-8557
札幌市中央区円山西町4丁目7-25
札幌西円山病院 地域連携推進室内
広報誌「にしまるやま通信」編集事務局

お気軽にお問い合わせ下さい！

電話 (011) 644-1380
FAX (011) 642-4347

にしまるやま通信

NO.80 2013年
3、4月号



撮影者/N.S

- 診療技術部薬剤部のご紹介 Vol.4
- ひなまつり
- 患者家族交流会
- ECO NEWS
- ロビーコンサート
- 編集後記

* * 札幌西円山病院のご案内 * *

- 診療科目 内科、神経内科、リハビリテーション科、循環器内科、歯科
- 病床数 854床（障害者施設等一般病棟、医療療養病棟、回復期リハビリテーション病棟、介護療養型医療施設）

診療技術部薬剤部のご紹介 Vol.4

今回は薬剤部の薬品管理業務についてご紹介したいと思います。

薬品管理では、医薬品の発注や払い出し、在庫把握など院内の医薬品の在庫・期限管理をしています。

発注

1日2回卸売業者へ必要な薬品を発注します。
発注した薬品は数時間後に納品され、検品後所定の場所へまいります。



電子システムでコードを読み取り発注書をつくっています。



入力風景



納品された医薬品

約900種類ほどある採用薬を管理しておりますよ。



THANK YOU

当院での薬品管理業務は薬剤助手さんが中心となっております

お薬ひとくちメモ

Q 目薬の効果的な使い方は？

1. 手を洗います。
2. 目薬の先端がまぶたやまつげにつかないよう注意して1滴点眼します。
(まぶたと眼球の間は狭いので1滴で十分量です。)
3. 目をつぶり目頭を軽く押さえそのまま1~2分待ちます。
(押さえることで液が鼻の方へ流れてしまうのを防ぐことができます。)
4. 溢れてきた余分な液をティッシュなどでふき取ります。

2種類以上の目薬をさす場合は、5分以上空けましょう。

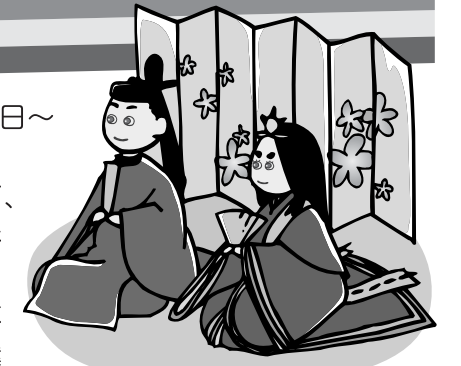


余談ですが…



薬局の受付嬢でつこさん人形が行方不明になっています！
ご存知の方は薬剤部までご一報を！！

ひなまつり



当院ではひなまつりに先駆け、各病棟にひなまつりの飾り付け、2月18日~3月4日まで、6階和室にひな人形を設置いたしました。

3月3日のお昼は通常の食事変わり、行事食(ひなまつりメニュー)で、五目ちらし寿司や野菜のてんぷら、羊羹を提供いたしました。軟らかい形態のお食事の方にも、春らしい彩りの食事を楽しんでいただきました。

毎年、栄養科が中心となり甘酒とおやつを提供しております。おやつは食形態に限定されずなるべく多くの方が食べられるように、今年は芋羊羹をご用意させていただきました。

季節の行事を楽しんでいただくことにより、多くの患者様に笑顔が溢れていました。

【節句が終わるとすぐに片付ける風習の由来】

雛人形は節句が終わったらすぐに片付けた方が良くとされており、雛人形は子どもの災厄を身代わりとなって守ってくれるため、長い間、身近においておかないで早くしまわなければ縁起が悪いと言われております。

また「雛人形の片付けが遅れるとお嫁に行くのが遅くなる」という話は、いつまでも雛人形を飾っておくと梅雨も近づき、カビの心配もあることから「片付けも満足にできないようではきちんとした女性になれない、良いお嫁さんになれない」という戒めのためとも言われています。



【患者家族交流会】



平成24年3月16日、平成24年度「患者家族交流会」を開催致しました。

交流会ではご家族との意見交換の他に、毎年行っている利用満足度調査結果の報告や現在当院で取り組んでいる病室を中心とした病院内環境の整備計画の報告、医療を中心とした社会保障のあるべき方向性について、「私たちのこれから」と題した院長講演が行われました。137名のご家族が参加され、介護療養病床の廃止や現在の我が国における社会保障制度に対する不安やご意見、さらには「患者家族の声を医療という立場から国へ伝えてほしい」など、当院へ対する期待の声もいただきました。